1月31日 (水)







A

会長

柏

葉

宏

樹

晴 ら 35 津 別 高 校 生 __

しょうか?楽しいことや辛いこと、様々なこ皆さんはどの様な1年を過ごしてこられたで とを経験した実りある1年になって 度もご 少なくなり こしたが、 ればと

この素晴らしき津別高校生の皆さんの力に改めて実感させられました。の皆さんの存在が無くてはならないものだと げていくか。そのことを高校生が考え、公の々人口の減り続ける津別町をどの様に盛り上を送る為には何が必要でどうするべきか、年会でした。自分たちが求める理想の高校生活 へ向けて高校生一人ひとりが提言を発表して一マについて1年間探究してきた成果を町民大学の学生の力を借りながら、それぞれのテれ、私自身初めて拝聴してきました。北海道 学 II _ と感じました。と同時に、 場で発表するという体験はきっとこれから るほどなと思う場面が沢山ありとても面白い いました。 人生にも少なからず良い影響を与えるものだ 「つべつ学」。2年生が受けている「つべつさて、津別高校独自のカリキュラムである の活動成果報告会が昨年12月に行わ さまざまなアイデアが出され、 津別町には高校生 な 0

通用しないなどの不安が囁かれ、予測不能な時代

に職が奪われるだとか、学校での学びが将来に

これからの時代は、AI時代と呼ばれ、そのA

あるいは先行き不透明な時代などと言われてます

未来はいつも不透明で、予測不能なも

しか

せていただきます。なれます様、これからもPTAとして尽力さ



音楽 [(1年) 、音楽 [[(2年). 音楽実技(3年)による発表!!



校

田

生 求 め n ば ∞ 無 限

大

__

第七十四回卒業生十一名の皆さん、 おめでとうございます。 太 長

また、卒業生保護者の皆様におかれましては、

高等学校卒業

その中で、 様々な場面で本校の教育活動にご理解とご協力を 信じるからこそ、真の自信となります。「言葉の重要性」について話をしました。 長講話として時間をいただき、生徒の皆さんに伝 えたいことをわかりやすく説明して参りました。 私は今年度校長として着任し、 ただき感謝申し上げます 特に「笑顔の大切さ」「諦めないこと」 全校集会では校 自分を

のびのびと社会で活躍できる人間となってくださ 根を張り多少のことでも微動だにせず、人生、求めれば8(無限大)です。 明るく

ます

めず自分に限界を作らず、

実行して欲しいと思い

代も若い力によって成し遂げられてきました。諦のです。常識を打ち破る、大胆な改革はいつの時

協力をいただきます 保護者の皆様、 ようお願い もご支援とご